

2015. 2. 13 理事会承認

2015年度(平成27年度)

事業計画書



公益財団法人キープ協会

目 次

公益財団法人キープ協会の公益事業と収益事業	2
2015年度 事業計画の方針・重点事業	3

公益Ⅰ．環境教育事業	4
1.環境教育＝やまねミュージアム・フォレストアーツスクール	
2.山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター(指定管理事業)	
3.環境省・日光国立公園	
那須平成の森・那須高原ビジターセンター運営管理業務	
4.山梨県地球温暖化防止活動推進センター	
5.環境研究所＝環境教育研究	
6.地域との環境教育事業	
公益Ⅱ．酪農事業	7
・高冷地実験農場	
公益Ⅲ．研修交流事業	8
・清泉寮・キープ自然学校・ポール・ラッシュ記念センター	
公益Ⅳ．	9
① 国際地域事業	
② 地域連携事業	
公益Ⅴ．保育事業	11
・清里聖ヨハネ保育園	

収益Ⅰ．製販事業	12
----------	----

収益Ⅱ．ホテル事業	14
-----------	----

本部(管理部門)	15
----------	----

■公益財団法人キープ協会の公益事業

(清里エリア・公1) 環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動
- (3) ヤマネ生態調査
- (4) やまねミュージアムおよび八ヶ岳自然ふれあいセンター（施設展示）
- (5) 山梨県地球温暖化防止活動センター

(那須エリア・公1) 環境保全および環境教育の研究と、教育・普及に関する事業

- (1) 環境教育セミナー
- (2) 自然体験活動

(清里エリア・公2) 高冷地での農業生産および地域農産物の高付加価値化に関する事業

- (1) 高冷地農業の研究開発
- (2) 酪農後継者の育成

(清里エリア・公3) 青少年および家族とそのコミュニティを対象に、心身の健全な発展や社会奉仕に資するレクリエーション・野外キャンプなどの体験活動・講習・研修活動・合宿活動に関する事業

- (1) 自然体験。酪農体験活動
- (2) 青少年育成活動
- (3) ポール・ラッシュ記念センター（施設展示）

(清里エリア・公4) 国際親善と開発途上にある海外の地域社会を対象とする支援・交流に関する事業

- (1) 国際親善
- (2) 開発途上国への開発協力
- (3) 地域活性化の研究・相談・助言

(清里エリア・公5) 幼児の育成と子育てに関する事業

- (1) 乳幼児育成
- (2) 自然体験活動

■公益財団法人キープ協会の収益事業

(清里エリア・収1) 自家製食品および地域特産品等の普及・販売等に関する事業

- (1) 売店・レストラン

(清里エリア・収2) 宿泊設備を使ったホテル営業

- (2) ホテル営業

2015年度 事業計画の方針・重点事業

KEEP for the Future 2013（キープ中長期計画 2013年版）に基づき、その3年目事業計画の実施検討を行います。

★KEEP for the Future 2013： 2015年度アクションプラン

- ・教育機能の強化：キープ協会の食育理念を整理し、発信します。
- ・一番美しい農場プロジェクト；キープファクトリーの稼働を目指します。
- ・環境保全型運営：キープ協会で使用する公用車や設備・備品類などを、できるものから環境配慮型のものに切り替えます。
- ・職員教育：職員教育カリキュラムの策定と職員教育の実施を継続し、次のステップである米国研修制度を検討します。
- ・清里聖ヨハネ保育園：新園舎での保育開始と、建設募金の目標達成を目指します。

【重点項目】

1. 財政健全化

- ・償却後の全体収支（最終損益）において▲5,000万円を目標とします。
- ・2016年度には▲2,000万円を目標とし、さらに収支ゼロを目指します。

2. 6次産業化

- ・キープ内における牛乳加工施設の新設や店舗の拡充・整備について、検討・着手します。

3. 清泉寮新別館改築計画

- ・清泉寮本館は、山梨県有形文化財指定を申請し、現状のまま保存します。
- ・清泉寮別館は、耐震診断実施後の結果により修繕・建替え・不使用を検討します。

4. 組織の見直し

- ・各事業部の担当業務と人員配置を再検討し、国際地域事業部を廃止します。
- ・ユースキャンプ場は、研修交流事業部（自然学校）の管轄とします。
- ・国際交流業務および地域連携業務の担当スタッフは、企画部・研修交流事業部等の各部現場に配属し、連携を取りながら柔軟に対応します。

公益 I . 環境教育事業

1. 環境教育

子どもからシニア世代までを対象とした「教育」とヤマネの総合的な「研究」を両輪として、市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働による環境教育事業および環境保全事業を通して、持続可能な社会実現に寄与します。

(1) キープ・フォレスターズ・スクール

① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供および研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

② 2015 年度の重点目標

1. 主催事業の強化 2. 森林保全作業を通じた環境教育の検討および実践

③ 主催事業（「実験」「協働」をキーワードにした魅力的なプログラムの開発・実施）

指導者養成事業、やまね学校、清里エコロジーキャンプなど

④ 受託事業

自然体験型環境教育プログラム、指導者養成事業、CSR 事業、講演、執筆等

⑤ 指導教育

職員教育、実習生トレーニング、研修生・インターンの受入れ

(2) キープやまねミュージアム

① キープやまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究のさらなる推進、ヤマネ保護と森林生物多様性保全の提案、研究成果を活かした環境教育・環境保全策の普及

② 2015 年度の重点目標

ヤマネ研究成果の総括（論文等）と森林環境保全への活用及び効果的な展示

③ 2015 年度の事業計画

ヤマネの総合的な研究の推進、ヤマネの受託調査、ヤマネ保護と環境保全研究の提案、研究成果を活かした環境教育の普及、「やまねミュージアム」の管理運営、アニマルパスウェイの国内外への普及と開発、老朽化する建物の維持・管理・補修

2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」指定管理業務

開館 20 周年の節目を迎えるに当たり、山梨県及び八ヶ岳地域の環境教育センターとしての役割を再意識し、指定管理業務を担当します。

(1) 山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良い環境の保全と継承に貢献します。

(2) 2015 年度のテーマ＝20 年

(3) 事業内容

プログラムの開発と実践、施設内外での展示、年度テーマに即した事業の実施、自然資料収集のための調査、教材開発、地域の拠点施設としての活動、周辺の文化施設、地域にあるネットワークとの連携、自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理、自主事業（環境教育関連書籍やグッズの販売、スノーシューの貸し出し等）

3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」および「那須高原ビジターセンター」運営管理業務 第2期（仮称）の2年目の管理運営業務を担当します。

(1) 那須平成の森（フィールドセンター）

①2015年度の重点目標

第2期の中間年として、請負業務の提案書に記した事業を本格的に実行に移し成果を上げることが重要な目標とします。

②事業内容

フィールドセンター運営、「インタープリターと歩く那須平成の森ガイドウォーク」、「自然体験・学習プログラム」、「無料ミニプログラム」、受託事業（学校団体等のプログラム）、年間を通したシリーズ事業、栃木県内の大学生を対象とした人材育成事業の実施（ビジターセンターを併用）、屋内外の展示制作、公園の環境管理、「那須平成の森基金」の事務局運営。

(2) 那須高原ビジターセンター

①2015年度の重点目標

那須町および近隣地域（那須甲子地域）との連携をさらに強化し、地域住民によるセンターの活用を活発化すること

②事業内容

ビジターセンター運営

4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、次の事業を可能な範囲で行います。

①地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動

②地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援

③日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会、相談及び助言

④日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査、分析

⑤定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

5. 環境研究所

環境教育事業部の機能の1つとして、事業部横断的に研究活動を行います。

(1) 環境保全研究（やまねミュージアムが担います）

(2) 環境教育研究

環境教育実践の整理・研究・発表、指導教育に関する研究

6. 地域との環境教育事業

地域との協働を通じた環境教育事業に取り組みます。

(1) 事業内容

森の学童など地域住民への環境教育、地域の教育機関・福祉機関への協力、
地域内各種ネットワークへの参画

公益Ⅱ．酪農事業

ジャージー牛の酪農を中心に、2015年は、国が進める6次産業化の実現を目指して、キープ内における牛乳加工施設の新設や店舗の拡充・整備について、検討・着手します。

1. 生産農場として

- (1) 2015年度の搾乳頭数は平均50頭とし、年間牛乳生産量は18万5千kg（2014年度は約16万kgの見込み、1頭平均日量1.4kg増）を目標とする牛乳生産量を目指し、引き続き有機JAS牛乳（安全、安心、衛生）の生産に努めます。
飼育総頭数120～130頭（内訳、成牛65、育成牛35、仔牛15、雄仔牛15）
- (2) 繁殖牛や肥育した雄仔牛の売却を行います。
- (3) 粗飼料の完全自給を目指し、圃場の拡大（現在、採草地45ha、放牧地25ha）に努めます。

2. 教育農場として

- (1) 後継者育成及び学習の場として、短期及び長期実習生、日本大学、麻布大学等の学生の受け入れを行います。
- (2) 酪農体験プログラムは、2015年度より体験内容及び料金を一部変更し、収入の改善に努めると共に、お客様が体験で求めているものに近づけるように研究努力していきます。

3. 実験農場として

- (1) 牧草地に堆肥等の散布を行い、循環型酪農に努めます。
- (2) 引き続き、生ゴミを堆肥化し、資源を有効利用します。
- (3) 山梨県耕作放棄地対策放牧推進助成事業として、山羊・雄仔牛を貸し出します。
- (4) 山梨県酪農試験場と協働して、試験的に雄仔牛の林間放牧を行います。（2年目）
- (5) 継続事業として粗飼料対策事業助成金を取得できるよう努力します。

公益Ⅲ．研修交流事業

1. 清泉寮

創設者ポール・ラッシュの理念に基づき、充実した研修宿泊施設としての運営を目指します。学校団体や教会関係団体をはじめとする各種研修団体の利用促進を図り、プログラム・スタッフや運営スタッフのスキル向上を目指します。

食育面では、引き続き地元農家などとの連携により、より安全で美味しく健康的な食の提供を目指します。

施設のメンテナンスについて、清泉寮本館は山梨県有形文化財指定を申請し、現状のままの保存を目指します。また清泉寮別館については、耐震診断実施後の結果により、修繕・建替え・不使用のいずれかを検討します。

2. 自然学校

宿泊・食事の提供だけでなく、体験指導スタッフによる森やフィールドでのプログラムの提供も可能な団体宿泊施設として、学校や養護施設・保育関係・スポーツ合宿などの受け入れに努力します。また継続して、森のようちえん等の主催プログラムを実施するスタッフの充実を図ります。

2015年度から新たに、キャンプ場の運営を担当します。

3. ポール・ラッシュ記念館

ポール・ラッシュの業績・歴史等を公開する通常の開館業務のほか、引き続いて学芸員による収蔵資料・美術品の保管保存管理を行います。

また、キープスタッフの教育機関としての機能や、資料館として対外的な対応も行います。さらに、ポール・ラッシュにまつわる魅力的な展示イベントを企画実施するとともに、併設の日本アメリカンフットボールの殿堂とも有意義にコラボレーションさせ、多くの皆さんにご覧いただけるように努力します。

公益Ⅳ－① 国際交流事業

キープ協会が従来実施してきた国際交流事業を見直し、今後も取り組んでいくべきものを再検証します。それにより、キープがなすべき国際交流業務を明確化し、アクションプランを立てて検討実施します。

1. キープ協会が従来実施してきた国際交流事業

- (1) キープ米国後援会（ACK）との協働による事業
- (2) フィリピン農山村援助交流事業の今後の展開
- (3) 日比米聖公会三教区青年交流プロジェクトの3年目事業
- (4) 米国ベリア大学・フランスなどからのインターン受け入れ
- (5) 北杜市国際交流委員会・米国ケンタッキー州マディソン郡との姉妹地域交流事業
 - ①北杜市からの訪問団の事前研修、コーディネート業務および随行(4～5月)
 - ②中学生のホームステイ交流事業(7～8月)
 - ③マディソン郡からの代表団の受け入れ(10月)
- (6) 北杜市中學生海外交流事業の企画・コーディネート業務
- (7) NPO ピースフィールドジャパンとの協働による、イスラエル・パレスチナ・日本の青年平和交流事業「KIZUNA PROJECT」

2. 組織の見直し

- (1) 効率的な業務遂行のため、国際業務担当スタッフは企画部・研修交流事業部等に配属し、柔軟に業務にあたります。
- (2) 従来、国際地域事業部が担当してきた「キャンプ場」運營業務は、研修交流事業部（自然学校）に移管します。

公益Ⅳ－② 地域連携事業

1. ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2015 の開催

- (1) 収穫に感謝する季節に、ポール・ラッシュ精神の顕彰と草の根国際交流の実践を広くアピールし、八ヶ岳に暮らす人々と八ヶ岳を愛する人々の結びつきを強めるため、北杜市をはじめ地域団体との協力のもと、ポール・ラッシュ祭を開催します。

2. 地域連携業務

- (1) 八ヶ岳観光圏や清里観光振興会等との組織と連携し、歴史・文化・観光などの側面から地域連携業務に取り組みます。
- (2) そのほか地域活性化のために必要な働きに取り組みます。
- (3) 効率的な業務遂行のため、地域連携業務担当スタッフは各部現場に配属し、それぞれ協力しながら柔軟に業務にあたります。

公益Ⅴ．保育事業（清里聖ヨハネ保育園）

園舎建設工事の完成(2月)により、新園舎での保育をスタートさせ、キリスト教の精神に基づき、「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、地域の資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動を重点的に行います。また、キープ協会の公益事業の中でも、地域社会とのつながりを深めるキーステーションとして、地域との交流事業にも積極的に取り組みます。

1. 異年齢児保育の継続

今年度は野外での活動をさらに多く取り入れ、異年齢児保育としても取り組みます。従来の保育方針を継続し、異年齢児の活動と年齢別の活動のそれぞれの良さを組み合わせる形で保育を展開します。

2. キープ自然学校・キープ森のようちえんプロジェクトとの連携

保育士の中に自然体験活動の指導レンジャー経験がある職員もおり、保育園職員のみで野外活動を行うことが常態化し、散歩等で森に出かけることが日常的となっています。自然学校とは、フィールドの使用や整備での協働が多く、また森のようちえん事業についても引き続き協働する形を取っていきます。

3. 環境教育プログラム・国際理解プログラム

環境教育プログラム「森のじかん」、国際理解プログラム「平和のじかん」を実施します。

4. 安全・安心な給食提供と食育の実践

毎日の給食時に給食担当から旬の食材の説明を実施し、保護者には実際の給食をディスプレイして伝えることや、年に一度の誕生会の後に給食を一緒に食べていただく活動を行います。園庭の一角に畑を作り、土作りや生長する過程を観察し、収穫したものを調理して食べる活動も行います。月に一度、食材の放射能検査を実施します。

5. 保育士の資質の向上

チーム保育を進め、チームの目的意識を高め、問題を共有することを目的に、園内研修を実施します。また、個々のスキルアップのために、外部研修への積極的参加を行います。

6. 新園舎建設事業

新園舎の完成を記念し、募金協力者を主な対象に「完成祝会」を開催します。新園舎の供用開始を機に、コミュニティセンターとしての役割を高めるべく、「ヨハネっ子まつり」「森の学童」などを引き続き開催します。

(新園舎建設募金は当初の計画通り 2015 年 10 月まで継続)

収益 I . 製販事業

製販事業部は、キープ協会が行う公益事業の経済的基盤を支えるため、中長期計画 KEEP for the future 2013 に則った様々な収益事業により、収益の確保を図ります。

また、「いちばん美しい農場 (MBF : Most Beautiful Farm)」プロジェクトを推進し、酪農事業部との連携による「生産・収穫—加工・製造—販売・消費」一貫体制の早期実現を目指します。

1. 2015 年度重点業務

- (1) 清泉寮ジャージーハットの建て替えへ向けた準備と体制作り
 - ① 6次産業化による農業振興
 - ② 魅力ある商品開発
 - ③ 地域への貢献

- (2) キープ内客単価を向上させるためにお客様の滞在時間延長を図る
 - ① 店舗間連携による複数店舗の利用促進
 - ② 居心地の良い環境・空間の整備
 - ③ 購買意欲を増加させる運営および接客

- (3) お客様から共感を得るための職員教育
 - ① キープの一員としての意識向上
 - ② 接客・サービス研修
 - ③ あらゆる商品知識の習得
 - ④ 取り巻く環境の変化に対応できる体制作り

- (4) キープの魅力の情報発信による集客
 - ① インターネットを利用した情報発信
 - ② 店頭サインによる情報発信
 - ③ 各種メディアを利用した情報発信

2. 通常業務

- (1) 店舗運営 (清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮セレクトショップ・清泉寮パン工房・キープファームショップ、並びにラザウオーク双葉 SC 店)
- (2) 通信販売およびネット販売
- (3) 清泉寮ソフトクリームおよびジャージー乳製品の出張販売

- (4) 地域生産品およびフェアトレード製品などの公益性のある製品の積極的な利用と販売
- (5) 飲食業においては「人と地球の健康」をキーワードとしたメニュー展開
- (6) 集客を図る効果的な宣伝広報
- (7) ホームページを利用した情報発信
- (8) 店舗周辺環境美化およびガーデン管理
- (9) 購買の一元化による効率的な仕入・在庫管理
- (10) 業務の効率化によるコスト削減
- (11) 外注に頼らないことによるコスト削減
- (12) 各店舗間における職員・スタッフの柔軟なシフトによる人事の効率化

3. 出張販売

- (1) 出張販売については、昨今の販売状況を考慮し、収益の期待できる催事のみならず、効率的な出店を図ります。

収益Ⅱ．ホテル事業

1. 清泉寮の宿泊研修施設を利用して、一般の宿泊客などを受け入れます。また宿泊だけではなく、立寄りでのレストランのご利用も受け入れます。
 - (1) 食育をメインテーマに、安心できる食材を手作りにこだわって提供します。
 - (2) クオリティを重視し、他の施設との競合を避け施設の特色を出します。

本部（管理部門）

公益財団法人の管理部門として、総務・経理・施設・企画の各部を置きます。

1. 企画関連業務

- (1) KEEP for the Future2013（キープ新5カ年中長期計画）進捗管理業務
- (2) 組織及び運営の改善、合理化の研究・提言
- (3) 内外一般情勢のマーケティング
- (4) 新規事業の運営計画の策定

2. 効果的な広報・宣伝広告戦略の構築

- (1) 広聴広報・ホームページ管理などに関する業務
- (2) Facebook等に関する管理業務
- (3) 総合案内パンフ、まるごとマップなどの作成・発信による販売促進
- (4) インバウンド受け入れの広報
- (5) 地域との連携による販売促進

3. 職員教育訓練業務

- (1) ES（従業員満足）・CS（顧客満足）を高めるための教育訓練の実施
- (2) キープ協会の設立運営理念や歴史的経緯の理解に努めます。

4. Friends of KEEP 会員組織の管理業務

- (1) 国内募金に関する業務
- (2) 会員獲得活動
- (3) 会員誌キープだよりの作成と発信
- (4) 顧客名簿の管理等に関する業務

理事会資料

平成27年度(2015年度)公益財団法人キープ協会 一般会計収支予算(案) 合計表

2015年2月13日
単位:千円

収支決算	収入	事業費①	人件費②	管理費③	支出計④-③	償却前損益	減価償却費	本部経費負担	支出計	経常損益	キャッシュフロー
研修交流事業部	556,270	73,636	189,015	218,806	481,457	74,813	127,637	18,000	627,094	-70,824	56,813
生涯教育事業部	172,933	0	101,205	46,200	147,405	25,528	2,949	23,000	173,354	-421	2,528
産農事業部	55,000	17,500	26,736	19,382	63,618	-8,618	8,922	2,000	74,540	-19,540	-10,618
国際地域部 (本部)	700	0	4,200	2,579	6,779	-6,079	0	0	6,779	-6,079	-6,079
聖ヨハネ保育園	68,461	5,280	48,760	4,102	58,142	10,319	8,630	0	66,772	1,689	10,319
公益事業計	853,364	96,416	369,917	291,069	757,401	95,963	148,138	43,000	948,539	-95,176	52,963
製菓事業部	540,850	222,900	115,551	55,980	394,431	146,419	16,419	21,000	431,850	109,000	125,419
(研修交流)	104,828	27,458	34,200	26,178	87,836	16,992	13,521		101,357	3,471	16,992
(農産)	5,858	4,135			4,135	1,723			4,135	1,723	1,723
(農場)	17,000	10,000	2,860		12,860	4,140			12,860	4,140	4,140
計	127,886	41,593	37,060	26,178	104,831	22,855	13,521	2,000	120,352	7,334	20,855
収益事業計	668,536	264,493	152,611	82,158	499,262	169,274	29,940	23,000	552,202	116,334	146,274
本部	5,304	0	83,362	51,865	135,227	-129,923	7,235	-66,000	76,462	-71,158	-63,923
合計	1,527,203	360,909	605,889	425,092	1,391,890	135,313	185,313	0	1,577,203	-50,000	95,402
経費/収入比率		23.6%	39.7%	27.8%							

公益事業費率 948,539/1,577,203=60.14%

注.*減価償却費の内、39,911千円はリース資産の償却

	収入	事業費	人件費	管理費	支出計	収支差額	減価償却費	支出計	損益	キャッシュフロー
2014年度予算	1,506,358	360,550	634,218	413,160	1,407,928	98,430	196,470	1,604,398	-98,040	53,430
比較増減	20,845	359	-28,329	11,932	-16,038	36,883	-11,157	-27,195	48,040	41,972

※2014年度予算には新園舎建築収支は含めていない

注.*減価償却費の内、45,000千円はリース資産の償却